

「相続・遺言と信託」  
5ページもチェック！

 プラスの財産について整理しましょう

(記入日：      年      月      日)

【確認するもの】通帳、取引明細など

(記入日：        年        月        日)

【確認するもの】登記簿謄本、固定資産評価証明書など

(記入日：      年      月      日)

【確認するもの】残高証明書など

| No. | 備考 |
|-----|----|
|     |    |



## マイナスの財産について整理しましょう

(記入日： 年 月 日)

| No. | 種別              | 支払・返済の相手                | 残額                 | 備考                               |
|-----|-----------------|-------------------------|--------------------|----------------------------------|
| (例) | 住宅ローン<br>カードローン | (株) ■■■■■■<br>◇◇◇◇◇ (株) | 〇〇〇〇〇〇円<br>〇〇〇〇〇〇円 | 20XX 年 X 月完済予定<br>20XX 年 X 月完済予定 |
|     |                 |                         |                    |                                  |
|     |                 |                         |                    |                                  |
|     |                 |                         |                    |                                  |
|     |                 |                         |                    |                                  |
|     |                 |                         |                    |                                  |
|     |                 |                         |                    |                                  |
|     |                 |                         |                    |                                  |
|     |                 |                         |                    |                                  |
|     |                 |                         |                    |                                  |

【確認するもの】ローンの償還表など



## 相続の対象とならない財産についても書き出しましょう (保険、共済、遺言代用信託など)

(記入日： 年 月 日)

(例) 保険会社：◆◆生命 種類：定期保険 保険金額：〇〇〇万円 受取人：□□□□

【確認するもの】保険証券など

死亡保険金などは、  
受取人が決まっているため  
相続財産になりませんが、  
財産の分け方を考えるときに  
考慮する必要があるので、  
あわせて書き出してみましょう。



このワークシートには遺言としての法的効力はありません。ご自身の覚書としてご利用ください。

## ◆財産をどのように分けるか考える

財産の内容が把握できたら、次はプラスの財産をどのように分けるかを考えましょう。

**「相続・遺言と信託」  
6～8ページもチェック！**



## 何を、誰に、どのように分けたいかを考えましょう

(記入日：      年      月      日)

| ゆずりたいもの     | 受け取ってほしい人 | 分け方など         |
|-------------|-----------|---------------|
| (例) 自宅      | 配偶者       | すべて           |
| (例) ○○銀行の預金 | 子         | アイとタクミで2分の1ずつ |
|             |           |               |

時間の経過とともに  
財産の状況や遺言者の心情が  
変化するのは自然なことです。  
そのときは、あらためてご自身の  
考えを整理してみてください。



「財産の一部を  
公益団体に寄附したい」  
などの希望があれば、  
具体的に書いて  
おきましょう。



このワークシートには遺言としての法的効力はありません。ご自身の覚書としてご利用ください。

## ◆遺言の執行について考える

「相続・遺言と信託」  
14ページもチェック！

財産の分け方が決まったら、遺言の執行について考えましょう。

(記入日： 年 月 日)

遺言執行者には財産管理の経験や  
法律の知識が求められます。  
弁護士などの専門家や信託銀行などの  
法人に依頼することも検討しましょう。



## ◆家族へのメッセージを考える

ここまでを振り返って、どのようなメッセージをのこすか考えましょう。

(記入日： 年 月 日)